

7. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (近畿)	良く なっている	百貨店（売場主任）	販売量の動き	・円安に伴う値上がり前の輸入ブランドの駆け込み需要が大きく、春物衣料も好調に推移している。
		その他専門店 〔宝石〕（経営者）	お客様の様子	・富裕層といえるような客や、特に株を持っているような客が、株価上昇益や配当を元に、時計や貴金属を買い求めに来る動きが大幅に増えている。
		観光型旅館（団体役員）	来客数の動き	・昨年10月以降、宿泊人数は増加基調にあるが、消費単価が低迷している。一昨年の水準に到達していない。
		都市型ホテル（客室担当）	来客数の動き	・春の行楽シーズンに加え、海外旅行のインターネット予約も増え、予約状況は前年比で105%となっている。
		旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・円安の影響もあるかもしれないが、国内旅行が好調に推移している。特に長距離方面の人气が高い。
	やや良く なっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・大企業は為替などで良い決算を発表しているところもあるが、個人経営の企業にはまだまだ良い影響が出ていない。ただし、先日催しを開いた際の参加者の様子からは、徐々に上向くのではないかと感触をつかんでいる。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・4月は売上が前年比で2けた増となっている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・ここへきて消費のムードが良くなってきている。ただし、商品のチェックは厳しく、良い物をより安く、更に自分に合っている物を探す。自分に合った商品があれば、以前は買上が1点であったが、今は3～4点と買上点数が増加している。
		一般小売店〔衣服〕（経営者）	単価の動き	・客への単価アップの提案がしやすくなっている。全体的に良くなったわけではないが、ゴールデンウィーク前の需要が高まっている。
		一般小売店〔鮮魚〕（営業担当）	それ以外	・少し暖かくなって外出する機会が多くなっており、前年に比べて売上も5%増えている。
		一般小売店〔衣服〕（経営者）	お客様の様子	・客に商品を買う意欲が出てきている。
		一般小売店〔花〕（店長）	来客数の動き	・前年と比べると、来客数が5%ほど伸びている。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・株価上昇に伴う資産効果などにより、売上は3か月連続で前年を上回っている。特に、特選衣料雑貨と宝飾品が2けた以上伸びている。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・今月は天候が不安定で、衣料品が苦戦しており、売上目標は未達成となりそうである。ただし、特選紳士服、紳士用品のなかには動きの良いブランドもあり、高額品を中心に明るい兆しがある。一部ではあるが、客は消費に対し、買い控えから積極的な動きをみせている。
		百貨店（企画担当）	単価の動き	・2月までと比べて、時計、宝飾品、特選ブランドの動きが良くなってきている。またマイナス傾向であった免税売上も、3月は前年比で40%増、4月に入っても2けた増と、増加傾向を続けている。
		百貨店（企画担当）	単価の動き	・先月に続き、特に宝飾、時計、特選ブランド関係といった高額品の売上が好調である。
		百貨店（外商担当）	販売量の動き	・企業の決算発表では業績が上向いているため、消費者の購買意欲が出ているように見受けられる。
		百貨店（店長）	来客数の動き	・客の購買額や店舗の入店客数も増加傾向にあり、売上なども前年を上回っている。
		百貨店（サービス担当）	お客様の様子	・今月は、婦人特選洋品や宝飾、美術工芸品が好調に推移しているが、大阪駅周辺の大型商業施設のオープンにより、来客数が減少している。
		百貨店（売場マネージャー）	単価の動き	・高額品の動きが大いに出ており、更に二極化の動きもみられる。
百貨店（売場マネージャー）	単価の動き	・先月に続き、特選関係の価格改定の影響もあり、高額品が動いている。株高の直接的な影響というよりも、富裕層の気持ちの変化が購買意欲を高めている。		
百貨店（服飾品担当）	お客様の様子	・春物商品の動きがやや良くなっている。客の買い方は、じっくりと吟味して買うスタイルではあるが、価値に納得する物は少々高くても購入する人が多くなってきている。		

百貨店（外商担当）	販売量の動き	・今まで好調に推移していた海外ブランド品が、円安により軒並み値上げとなったため、販売の増加に一服感が出ている。
スーパー（店長）	来客数の動き	・昨年との気温差で衣料品が苦戦しているが、住居関連は好調で、食品も健闘している。
コンビニ（経営者）	来客数の動き	・本部から伝えられた買い得品を店内にポップ広告などで表示し、看板も店外に出してアピールをしたところ、来客数が前年比で3%伸びている。
コンビニ（経営者）	単価の動き	・ファストフードの売行きが相変わらず好調である上に、プレミアム系商品の売上も増えてきており、客単価が上昇傾向となっている。
衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・昨年の売上とほぼ同じぐらいなので、景気は非常に悪いわけではない。
衣料品専門店（営業・販売担当）	単価の動き	・少しではあるが、高額スーツの注文がある。
家電量販店（経営者）	お客様の様子	・5月からの電気料金値上げを控え、節電型で高付加価値の白物家電の動きが良い。
家電量販店（企画担当）	来客数の動き	・最近では来客数が多くなり、特に生活家電品の購入が増えてきている。
乗用車販売店（販売担当）	来客数の動き	・来場者数は比較的多いものの、日によって波がある。商談数もまずまずであるが、契約には至らない。
一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・オフィス街では新規客が増え、繁華街ではシーズンに入り観光客が増えているなど、来客数が増加している。
一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・3、4月と、直近の来客数が前年を上回っており、客単価も2%程度伸びている。
一般レストラン（経理担当）	来客数の動き	・新政権による経済対策の効果が少しずつ出てきている。車にはタクシーなどの事業者ナンバーが目立つようになってきているほか、人が飲食街に少しずつ出てくるようになっており、客が増えている。
スナック（経営者）	来客数の動き	・新規の客がいるわけではないが、少し常連客が戻ってきて、2～3か月前よりは安定している。
観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・4月に入って、3月ほどの勢いはないものの、個人客の動きは引き続き好調である。
観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・予約が好調である。料理の追加注文も入るようになってきている。
都市型ホテル（支配人）	お客様の様子	・アベノミクスの影響か、確かに購買意欲は町全体に広がっているように見受けられる。会議のみの利用から、今月は宴会の予約も入るようになり、景気が上向きになっている。
都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・各部門（宿泊、宴会、食堂）共に、微増ではあるが前年を上回っている。単価はまだまだ上がりきっていないが、人が動いている実感がある。特に、春休みの観光客による宿泊（個人）は、高単価の客室でも需要が伸びている。
都市型ホテル（総務担当）	来客数の動き	・宴会の開催件数やレストランの来客数が前年を上回っている。ただし、宴会の1件当たりの単価、レストランの客1人当たりの単価は、依然として回復していない。
旅行代理店（従業員）	単価の動き	・街角景気の改善が、円安、株高の勢いに乗って実体経済に反映されている。
タクシー運転手	お客様の様子	・大手企業のハイヤー予約が増加傾向にあるほか、一般客の乗車機会の増加により、日々のノルマを今までのように苦労することなく達成できるようになっている。
通信会社（経営者）	お客様の様子	・円安効果、株価上昇などで、心理的に良くなっている感がある。
通信会社（企画担当）	それ以外	・来客数や売上の増加にはつながっていないが、株価上昇などによる経済への好影響を肌で感じる。
テーマパーク（職員）	来客数の動き	・新発売した商品は、高付加価値で少々割高な価格設定であるが、思いのほか売れている。
競艇場（職員）	単価の動き	・3か月前と比べて、購買単価が若干上昇している。
住宅販売会社（経営者）	競争相手の様子	・当社では実感はないが、同業他社との情報交換では、売買の成立件数や単価が上がっているとの報告をよく耳にする。
住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・消費税の増税前の駆け込み需要が始まりつつある。
その他住宅[展示場]（従業員）	来客数の動き	・住宅展示場への来場者数が増加し、早い時期での建築希望も増えている。

	その他住宅 [情報誌] (編集者)	お客様の様子	・新築マンションの販売現場では、来場者数が増加傾向にあり、販売のスピードも上がっている。計画よりも早く売れる現場が増加している。
変わらない	一般小売店 [時計] (経営者)	販売量の動き	・相変わらず腕時計や目覚まし時計などの動きは良くなかったが、修理やバンド、電池交換などで売上を稼ぐことができた。年配の客が多いからかもしれないが、簡単に買換えるのではなく、今持っている物を大事に使うという雰囲気をかなり感じる。
	一般小売店 [事務用品] (経営者)	販売量の動き	・春の商戦では、商品の動きは悪くない。
	一般小売店 [精肉] (管理担当)	販売量の動き	・株価の高騰などで雰囲気は確かに良くなっていると感じるが、具体的に身近で動きが良くなっている物は見当たらない。テレビや新聞で百貨店の高級商材が例年より動いていると報じているが、高級牛肉は動いていない。逆に円安による悪影響などが懸念される。
	一般小売店 [衣服] (経営者)	販売量の動き	・販売量は以前と変わらないが、次につながる買物客が増えているような気がする。
	一般小売店 [野菜] (店長)	競争相手の様子	・近くのスーパーが閉店するなど、アベノミクスの恩恵はまだ出てきていない。
	百貨店 (売場主任)	来客数の動き	・3月はまずまずの入店で、ほぼ前年を超えていたが、4月はマイナス2%と厳しい。大阪の梅田地区が活況を呈しているため、影響を受けている。
	百貨店 (売場主任)	来客数の動き	・まだまだ国内の需要は安定していない。円安の進行などで先行きにも不安がある。
	百貨店 (売場主任)	販売量の動き	・桜が例年よりも早く咲いたことで、3月は来客数が増えて売上も伸びたが、4月に入り不安定な気温や大きな地震、強烈な風雨の影響で売上が安定していない。アベノミクス効果で消費者マインドが上がってくると期待していたが、今は足踏み状態である。
	百貨店 (営業担当)	競争相手の様子	・梅田地区が注目され、マスコミにも取り上げられた今月中旬以降、富裕層の買上も含め、店頭売上が減少している。一方、優良固定客に対する店外催しは好調である。
	百貨店 (営業担当)	販売量の動き	・天候が不安定で衣料品の動きが悪く、郊外店では高額品の動きも活発ではない。一方、来客数は前年を上回ってきている。
	百貨店 (販促担当)	単価の動き	・先月は来客数、購買客数共に増加基調であったが、今月に入って客単価が低下している。衣料品では羽織物の動きが鈍く、単価に影響が出ている。高額品の商談は多くなっているものの、足元の消費については慎重な購買行動が続いている。
	百貨店 (商品担当)	販売量の動き	・高額品やファッション関連商品の好調が伝えられているが、他の商品群がすべて好調というわけではなく、店全体や市場全体が活況とはいえない。
	スーパー (経営者)	単価の動き	・今月も最初の1週間ぐらいはそこそこの単価で動いていたが、10日過ぎぐらいから客単価が2割近く下がっている。雨が多かったこともあり、非常に単価が低い。
	スーパー (店長)	単価の動き	・依然として販売価格に対する客の見方は、非常にシビアで細かい。高単価商材が好調なのは百貨店や専門店の一部で、円安、株高の実態がみえない以上、我々の業態では景気が良くなるとは思えない。梅田地区や神戸でオープンした大型商業施設も相当の人出ではあるが、飲食のプチゼイたく関連のほか、低価格業態の物販以外は厳しい売行きとなっている。
スーパー (店長)	販売量の動き	・4月は早い時期に気温が上がったが、衣料品が動きそうところで気温が下がり、天候も不安定になったため、思うように販売ができていない。	
スーパー (店長)	販売量の動き	・前月までは好調であった衣料品がここへきて足踏み状態で、現状維持となっている。食料品や消耗品でも、単価は維持できているものの、販売量が伸びてこないのが現状である。	
スーパー (経理担当)	販売量の動き	・気温の動向が不安定で、花見が早まったり、春夏物の衣料品が売れないなど、本来売れるべき時に売れないケースがみられる。このため、売上の伸び悩み感がある。	

スーパー（広報担当）	販売量の動き	・今月に入ると気温があまり上がらず、季節品の動きが鈍くなっている。一方で、円安などの影響で値上げ報道が続いた油や小麦粉、トイレットペーパーなどでは、値上がり前に買い置きをする動きがみられるなど、生活防衛意識は強い。
スーパー（管理担当）	販売量の動き	・購買点数の伸びが一向にみられない。
スーパー（企画）	単価の動き	・来客数は回復しているものの、客単価の下落傾向は続いている。
スーパー（販売担当）	単価の動き	・競合相手との価格競争などで、基本的な商品やナショナルブランドなどが価格を競う状況にある。単価自体が下がっていて、客のトータルでの販売量は昨年を上回っているが、合計の買上金額は昨年水準に達していない。
スーパー（社員）	来客数の動き	・商品価格の低下は一段落しており、客の低価格志向も昨年に比べて小さくなっている。味が良くて価値のある商品の売上は好調である。ただし、天候の良くない日や、イベントの少ない日を中心に、客の来店はやや少ないと感じられる。
コンビニ（店員）	来客数の動き	・近隣への競合店の出店以来、売上は減少傾向にあり、非常に苦しい状態である。
コンビニ（広告担当）	来客数の動き	・まだアベノミクスの影響は末端の消費者まで出ていない。下半期ぐらいから出てくることを期待しているが、逆に公共料金などの値上げが悪い影響となる。
衣料品専門店（販売担当）	お客様の様子	・客の様子では、買い控えが少なくなっている。
乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・外車販売業界では、平均して来客数が増えているため、良くなっている。
乗用車販売店（営業企画）	単価の動き	・1～3月は利益率が高水準であったが、4月に入って下がってきている。
乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・円安ドル高や株価の上昇により、客の反応は非常に良いが、販売量はまだまだ変化しておらず、今からが正念場である。
住関連専門店（店長）	販売量の動き	・昨年に比べると、客には更に1点の追加購入をしてもらえるようになったが、まとめ買いには至らないのは、数か月前と変わらない。
その他専門店【医薬品】（経営者）	販売量の動き	・寒暖の差が大きく、安定しない日が多かったせいか、先月と比べて買上点数が1点程度増え、売上増につながっている。特に、風邪薬や花粉症関連の販売が増えている。
その他専門店【食品】（経営者）	販売量の動き	・販売量は前年と変わらない。
その他専門店【スポーツ用品】（経理担当）	販売量の動き	・消費材の価格が徐々に値上がりつつあるなか、給与アップの話は進んでいない。
その他専門店【宝飾品】（販売担当）	単価の動き	・高価格帯の商品の動きが、低価格帯よりも少ない。
その他小売【インターネット通販】（企画担当）	お客様の様子	・売れ筋商品は限られ、買上点数の増加にはなかなか結びつかない。
高級レストラン（店長）	お客様の様子	・アベノミクスといっても、この辺りでは変わらない。反対に悪くなっている気がする。
高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・ここ数か月は良い水準を保っているという意味では、変わらない。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・桜の咲いている時期は来客数も増えたが、桜が散ってからは近くの商店街も人通りが少なくなり、4月の売上としては今までで一番悪い。値上げなどにより消費者の財布のひもは固く、客層はますます二極化が進んでいる。
一般レストラン（店員）	来客数の動き	・先月とほぼ状況は変わらず、新規アイテムが少ない。
その他飲食【コーヒーショップ】（店長）	来客数の動き	・新聞紙面などでは収益改善の記事をよくみるが、単価の低い喫茶にもかかわらず、来客数の伸びは全くみられない。一般消費者に恩恵が出てくるのはまだ先と感じる。

観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・桜の開花が例年より1週間早く、行楽や花見客も3月末に多くみられた。その分4月前半は来客数が低迷したが、ゴールデンウィーク前半の3日間は前年並みの利用があった。来客数は落ちているが、客単価は数か月前から横ばいとなっている。	
都市型ホテル（マネージャー）	来客数の動き	・客室部門は、海外からの観光客などがここ数か月は堅調に推移しており、前年の稼働率も上回っている。食堂部門も、おおむね前年を上回っており好調であるが、宴会部門が前年を割り込むなど苦戦が続いており、全体ではほぼ前年並みであるため、景気が良くなっているとは判断できない。	
旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・急激な円安による割高感や北朝鮮関連での緊張の高まりで、回復しかけていた韓国向けの予約がストップしている。中国向けもビジネス客以外はほぼゼロであり、他方面は伸びているが、海外旅行は全体でほぼ前年並みである。国内旅行は前年を若干上回っているが、力強さはない。	
タクシー運転手	お客様の様子	・週の前半は人通りが少ないが、後半になれば人出が増えるようで、特に金曜日は今までよりも人出がみられる。	
タクシー運転手	お客様の様子	・世間では景気が良くなっていると聞くと聞くと、京都では極端な変化はない。	
タクシー運転手	競争相手の様子	・企業によるタクシーの需要が少ない。	
通信会社（社員）	販売量の動き	・通信会社からの新製品の発表はまだであるにもかかわらず、春夏モデルの買い控えも始まり、集客が伸びず販売も落ちている。	
通信会社（企画担当）	お客様の様子	・好転する顕著な動きはみられない。	
パチンコ店（店員）	お客様の様子	・滞在時間が短い客が多い。	
その他レジャー施設 [イベントホール]（職員）	お客様の様子	・イベント数はほぼ変わらず、レストラン、売店などの売上もほぼ前年並みの売上で推移している。全体的には変化がないといってもよい。	
その他レジャー施設 [飲食・物販系滞在型施設]（企画担当）	来客数の動き	・季節要因や天候要因を除いても、インバウンド客を中心に集客が戻りつつある。アウトドアのレジャーに対する緩やかな需要の回帰も感じられる。	
美容室（店長）	来客数の動き	・新しい客がなかなか増えず、スタッフを募集しても集まらないなど、厳しい状況が続いている。	
その他サービス [ビデオ・CD レンタル]（エリア担当）	販売量の動き	・全国平均ではレンタル、書籍販売などが前年を上回る勢いであるが、関西地区では、特にレンタルで低価格競争による苦戦がまだまだ続いている。	
住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・新政権発足後、円安、株高傾向が継続しているものの、各企業が積極的な経済活動を行うようになっていくわけでもなく、特段の変化はない。	
住宅販売会社（総務担当）	販売量の動き	・当社の中部以東では契約が前年比で増えているが、関西においては数字には顕著に表れていない。	
その他住宅投資の動向を把握できる者 [不動産仲介]（経営者）	それ以外	・不動産市場の動きはあまり変わらない。	
やや悪くなっている	一般小売店 [珈琲]（経営者）	それ以外	・仕入単価の上昇、原料の海外相場の高止まりや、円安が打撃となっている。
	一般小売店 [菓子]（経営企画担当）	販売量の動き	・本年4月現在と1月の売上前年比を、各地区別に上位5店舗の平均でみると、関西は4月が84.1%で、1月が94.4%、関東は4月が85.3%で、1月が101.0%、中部は4月が72.3%で、1月が95.9%、中国は4月が86.1%で、1月が106.8%となり、各地区合計は4月が81.8%で、1月が97.7%である。今年に入っても低迷が続いているが、4月は特に全国的に悪く、依然として悪い状態が続いている。今後回復傾向に転じることはもちろん、前年並みに回復することさえ難しいように思われる。
	一般小売店 [食料品]（管理担当）	販売量の動き	・注文が入って忙しいが、薄利多売で利益が出ない。

	スーパー（店長）	来客数の動き	・特に食料品の苦戦傾向が続いている。
	スーパー（企画担当）	来客数の動き	・来客数が既存店ベースで前年比96%の推移であり、下げ止まり感がない。
	コンビニ（店長）	来客数の動き	・気温の寒暖の差が激しく、日によって売れる商品が一変するために、仕入れが読みにくいほか、一気に気温が下がると客の動きも悪くなる。
	旅行代理店（広報担当）	お客様の様子	・ゴールデンウィークの旅行の申込に関して、通常であれば3月よりも間際になって伸びてくるが、今年は日並びの影響もあり、悪くなってきている。客も、今年は平日を3日間含んでいるので、夏に旅行する機会をねらっていることもあり、現状は伸びていない。
	悪くなっている	競輪場（職員）	単価の動き
企業動向関連	良くなっている	金属製品製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き
(近畿)	やや良くなっている	食品製造業（営業担当）	取引先の様子
		出版・印刷・同関連産業（情報企画担当）	受注量や販売量の動き
		化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き
		化学工業（管理担当）	受注量や販売量の動き
		電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子
		電気機械器具製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き
		電気機械器具製造業（宣伝担当）	受注量や販売量の動き
		電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き
		通信業（管理担当）	それ以外
		金融業（営業担当）	取引先の様子
		金融業〔投資運用業〕（代表）	受注価格や販売価格の動き
		不動産業（営業担当）	取引先の様子
		新聞販売店〔広告〕（店主）	受注量や販売量の動き
		広告代理店（営業担当）	取引先の様子
		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き
		経営コンサルタント	受注量や販売量の動き
		コピーサービス業（店長）	受注量や販売量の動き
		その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	受注量や販売量の動き
		その他非製造業〔衣服卸〕（経営者）	取引先の様子

	その他非製造業 [民間放送] (従業員)	取引先の様子	・株価上昇による景気浮揚感を強く感じる。
変わらない	食料品製造業 (従業員)	受注量や販売量の動き	・連休前で少しは荷動きがあるが、今一つといった状況である。既存品の売上が良くなく、新製品で少しカバーしている。連休に向けて出費がかさむのか、一般的な調味料は売上が伸びていない。
	食料品製造業 (経理担当)	受注量や販売量の動き	・ゴールデンウィーク前でも受注量があまり伸びていない。
	プラスチック製品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・自動車関係の好況は期待できるが、電気関係の低迷があるため、一増一減で現状維持である。
	窯業・土石製品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・アベノミクスということでムードは良くなっているが、受注量や販売量は減少気味である。
	金属製品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・アベノミクスにより市場は明るい方向に向かっているが、荷動きが増加するまでにはまだ時間がかかる。
	金属製品製造業(管理担当)	受注量や販売量の動き	・太陽光発電関連が好調であるが、購入時の政府からの補助金が6月までは出ない空白の時期となるので、販売量は落ちてきている。ただし、6月からはこれまで以上に販売量が増える見込みである。一方、依然として建築、土木関連は低調である。
	一般機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・取引先の投資計画が活発で、試験的な設備投資が先行しており、小規模であるが順調に受注している。
	一般機械器具製造業(設計担当)	受注量や販売量の動き	・当業種に限った動きかもしれないが、当社は受注が増加していない。
	電気機械器具製造業(経営者)	それ以外	・春の訪れや円安の影響で世間の気分は明るくなっているが、企業間の取引自体は急に変わらない。ただし、円安で見積価格を下げられるため、商談は進みやすくなっている。
	電気機械器具製造業(営業担当)	受注量や販売量の動き	・売上は横ばいで、受注は少し減少している。
	輸送用機械器具製造業(経理担当)	受注量や販売量の動き	・国内での引き合いはアベノミクスの影響で増加傾向にあるものの、受注までには至っていない。
	その他製造業 [事務用品] (営業担当)	受注量や販売量の動き	・売上に変化がない。
	建設業(経営者)	受注量や販売量の動き	・太陽光発電では、固定価格買取制度の買取単価が下がったこともあり、4月に入って受注や問い合わせが一段落している。
	建設業(経営者)	取引先の様子	・職種によっては技能労働者不足や建設資材の高騰の動きが出てきている。厳しい価格競争で板ばさみ状況である。
	建設業(経営者)	受注金額や販売価格の動き	・受注金額、単価共に低調なままである。
輸送業(営業担当)	取引先の様子	・売上が低迷したままである。	
輸送業(営業所長)	受注量や販売量の動き	・今年の4月は事務機器の搬入があるなど、3月の好調が持続している。	
その他サービス [自動車修理] (経営者)	受注量や販売量の動き	・ゴールデンウィーク前であるが、慌ただしい動きもなく暇である。	
その他非製造業 [機械器具卸] (経営者)	競争相手の様子	・円安と株高で景気が良くなるといわれているが、実態は全く変化がない。	
やや悪くなっている	繊維工業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・売上は前年比で20%ダウンしている。高額商品が売れているといわれているが、元々取引量が少なく、売上を押し上げるまでには至らない。一方、買い控えが一段と厳しくなっている。
	パルプ・紙・紙加工品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・円安の影響が食品関連の業界に出てきている。価格改定交渉を始めているようで、積極的な増産傾向がみられない。輸出が多い企業は業績が良かったようであるが、現状は荷物量の増加まではみられない場合が多い。
	電気機械器具製造業(経理担当)	受注量や販売量の動き	・最近の報道にあるような好景気の雰囲気は業界にはない。

		輸送業（商品管理担当）	受注量や販売量の動き	・販売量が横ばいになってきている。母の日、父の日のイベントで良くなると期待している。	
		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・年度始めで、広告出稿の様子をみている企業が多い。	
		経営コンサルタント	取引先の様子	・クライアントの食品スーパーでは、売上が若干増加し、前年を上回る状況になっている。	
	悪くなっている	繊維工業（団体職員）	受注量や販売量の動き	・受注状況は、例年と比較しても非常に悪い。	
雇用 関連 (近畿)	良くなっている	-	-	-	
	やや良くなっている	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・4月の当初は年度末の忙しさを引きずっていたが、中旬以降は落ちてきている。これは各分野にイえることで、今の時期は円安、株高の材料も出尽くしたため、このまま推移していく。	
		人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・3か月前と比べるとやや良くなっているが、この1か月でみると少し求人数が減っている。特に、物流業は繁忙期であるが、例年ほどではないなど、物の動きが鈍化している傾向がある。	
		人材派遣会社（役員）	求人数の動き	・前々月、前月に引き続き、全体の求人数は着実に増えてきており、紹介予定案件も増加傾向にある。	
		人材派遣会社（営業担当）	それ以外	・株高が好感されて、個人の高額消費が好調といったニュースを聞くと、アベノミクス効果を実感する。	
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・梅田地区での大型商業施設の開業が大きく、心理的にもプラスに働いている。	
		新聞社〔求人広告〕（管理担当）	求人数の動き	・引き続き求人広告は安定的に出稿があり、景気は上向いている。ただし、本格的な回復との認識はない。	
		職業安定所（職員）	それ以外	・新規求人数が若干増加している。	
		民間職業紹介機関（大学担当）	採用者数の動き	・14年3月卒の大学生の採用活動が始まり、内々定者が出てきている。前年よりも感触は良さそうで、景気回復の後押しを受けている。	
		学校〔大学〕（就職担当）	採用者数の動き	・医療系であるからかもしれないが、採用状況は上向きで推移している。求職者は就職の内定を100%獲得できている。	
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・昨年は求人社数が前年比で増加したが、今年は更に増加している。	
		変わらない	人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・アベノミクスも失速したのか、新年度という时期的な要因かもしれないが、大きな動きがない。
			アウトソーシング企業（社員）	雇用形態の様子	・人手不足であるにもかかわらず、求人募集を出して人手を増やそうとしない。
			求人情報誌製作会社（企画担当）	求人数の動き	・梅田地区の大型商業施設関連の採用が一段落すると、梅田地区も心齋橋地区も採用の動きは大きく動かない。商業施設での新規案件以外は低調な状態が続く。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	求人数の動き	・新聞の求人広告量でいえば、4月になっても明らかな上向き傾向はみられない。	
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	周辺企業の様子	・新聞の求人広告に大きな変化はないが、市場全体の求人は梅田地区や阿倍野地区での新施設の開業などで動いている。今後は成長産業での求人にも期待している。	
		職業安定所（職員）	採用者数の動き	・新規求人数は14か月連続で前年を上回ったが、その伸びは微増にとどまっている。また、運輸業、建設業、人材派遣業は増加に転じたが、製造業は減少が続いている。ただし、新規求職者数が引き続き減少傾向にあることに加え、企業の採用意欲がやや高まっているのか、採用者数、充足数共に久しぶりの増加となっており、現状の景気はやや良いという感触がある。	
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数の動きについては、医療・福祉、建設業、宿泊・飲食サービス業からの求人は増加しているが、製造業からの求人は減少している。	
		民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・建設日雇い求人数は、この時期は年度の端境期のため判断が難しい。例年は大幅に減少するが、今年は減り方がそれほどひどくはなく、昨年ごろからの求人の増加傾向は維持している。	
		学校〔大学〕（就職担当）	それ以外	・前年同時期と比較して、内々定の状況はあまり変わらない。	
	やや悪くなっている	-	-	-	

悪く なっている	-	-	-
-------------	---	---	---